

エコニュース さって



第 26 号

平成 21 年 3 月 13 日
幸手市市民環境会議
(さって市民環境ネット)
TEL48-0331

市民環境講座始まる！

今年は市民環境講座の 2 年目で、1 月から 3 月にかけて 5 回行っています。

第 1 回 <地球温暖化とエネルギー>

関東経済産業省総合エネルギー広報室の石原さんが豊富な資料で、まず地球温暖化の影響の予測と対応策を語り、それをエネルギー問題としてとらえると、日々の私たちの生活にどうつながっているのかという話に続きました。日本は、エネルギー（水力など）自給率がわずか 4 % と、低いとよく言われる食料自給率より更にひどいうえに、輸入石油を頼りにしているのです。お話を終わって、太陽光発電など、自然エネルギーの取り組みが皆さんの話題になりました。

第 2 回 <クイズでアタック 「食」と「農」>

日本の食料自給率は 40 % と、他の国と比べて目立って低い。それなのに、売れなくてカビが生えても続けるコメの輸入、さらに食料輸入量をもっと増やせと言うアメリカの要求。輸入が途絶えれば日本の食生活は終戦直後の状況に戻ると農水省は言ってます。それなのに 40 年続く減反政策も話題になっています。農家の実情を話してもらって理解を深めました。京都で始まった「縁故米」の運動を紹介しました。農家と都会の消費者が近づこうとする動きです。私たちにできることは何か、みんなで考えてみました。

第 3 回 <エコ・省エネゲーム>

今回は初めからグループに分かれました。ゲームが始まる前から、グループ内の各自の自己紹介を兼ねた省エネ談議で盛り上がりました。

ゲームは、小は 5 千円の「コンセント」から、大は 300 万円の「断熱リフォーム」の工事までの省エネのための買い物を選ぶことから始まり、各グループは 300 万円の予算をどう使うか、知恵を絞りました。その後で、それぞれの買い物の効果が示されて、その買い物で削減される二酸化炭素の量、節減できる金額を計算しました。

各グループは、「車を低燃費車に買い替えたのがよかった。」とか、結果を披露しました。グループで楽しみながら、ひととき「省エネ」について考えてみました。

第 4 回 <幸手菜の花プロジェクト>

もうすぐ始まる権現堂堤の幸手桜まつり、桜の脇役ながら彩りを添える菜の花。見るだけでは、もったいない！のでは、と見方を変えて、埼玉県・春日部農林振興センター久喜普及部で、「権現堂堤の菜の花」を担当している宮田さんは皆さんにやさしく話しかけました。なたね油を採るのはもちろん、廃食油をバイオディーゼル油にするリサイクルまで、「菜の花」はいろいろ利用できることがわかりました。

権現堂堤の菜の花を栽培している桜保存会の方の話や、50 年前に菜の花を栽培した経験談も出て、これから何をやってみるか、小さな一步を踏み出しました。(本田)

第 5 回 <エコ包装の現状> の案内は、最後のページをご覧ください。

落葉リサイクルで腐葉土づくり 新しい床づくり始まる



<第 35 回(新年度、第 2 回)腐葉土づくりの会>

12 月 21 日(日) 10 時から、年末の大変忙しい中 19 名参集し、落ち葉集めと積層、スペアの床づくりを行いました。前日まで大変寒かったのですが、当日は冬にしては久しぶりに暖かく上着を一枚ぬいで作業を行いました。

冒頭、本田会長からの挨拶(前回、都合で欠席のため、腐葉土づくり会の活動趣旨を説明、幸ネットワークの焼芋会に当会で収穫したサツマイモが一部使われたこと、1 月 17 日(土) 第 1 回環境講座の案内などを含めて)後、参加者の再度自己紹介し、続いて野澤代表から作業手順の説明があつて、2 グループに分かれて作業を行いました。

最初に、既に環境課の協力で集めた落ち葉を先月積んだ床に積層してから、第 1 グループは新しい床づくりを進めました。しかし、途中でカケヤの柄が折れてしまい作業を次回に延ばすことにしました。第 2 グループは構内、道路沿い、運動場付近に分散して落ち葉集めを行いました。なお、運動場付近の落ち葉集めにはボランティアの人達に協力戴きました。

大量に集めた落ち葉を 3 基の床に全員で積増し、踏み込み、水散布、米ぬか、乾燥汚泥土及び硫安少々散布を 3 回繰り返し積層して作業を終了しました。

次回、1 月 18 日(日)はスペア一床の完成と腐葉土の切り返し、落ち葉の切り込みを行うことを予定して散会しました。(澤村)

まだ落ち葉があつた!

<第 36 回腐葉土づくりの会>

1 月 18 日(日) 10 時から、3 回目の腐葉土づくりを行いました。

1 つのグループはテニスコートの西側の上吉羽公園に行きました。そこには沢山のどんぐりと一緒にクヌギの落ち葉が手つかずで残っていました。1 時間ちかくで落ち葉を集めました。今年の落ち葉集めはこれでおしまいです。

別のグループは前回中断したスペアの床づくりにかかりながら、腐葉土の切り返しと新しい落ち葉の積み増しをしました。(本田)

今年も腐葉土が沢山できるぞ!

<第 37 回腐葉土づくりの会>

2 月 15 日(日) 10 時から、真冬にも関わらず、少し暖かい中、20 人が参集しました。冒頭、会長から 3 月末までの第 3 回「エコ省エネゲーム」、第 4 回「さって菜の花プロジェクト」及び第 5 回「エコ包装の現状」の市民環境講座案内と参加勧誘があつた後、代表幹

事から今回の作業手順の説明があり、腐葉土3床に米ぬかと乾燥汚泥土を切込みながら切返しを行い、男性全員が力作業を交替で行い、女性が軽作業を行いました。

終了後、今年度から野菜栽培の畑を、車の駐車や畑の土質の関係から、桜泉園の近くに変更するので、全員が畑まで歩いて往復し確認しました。

次回、3月15日（日）は、9時半開始で、腐葉土の切返しとジャガイモ種いも（キタアカリ 15kg、メイクイーン 15kg）植えを約束し散会しました。

なお、3月1日（日）に事務局と幹事有志で、ジャガイモ栽培の場所百数十㎡を測って、元肥として乾燥汚泥土、昨年度少し残った熟成腐葉土、化成肥料を撒きました（澤村）。

第2回中川流域勉強会に参加して

2月5日、19日、3月5日

昨年に続き、中川勉強会が、2月5日・19日、3月5日の3日間埼玉県生態系保護協会（以下、保護協会と略）主催（国交省江戸川河川事務所協力）で行われました。参加団体は中川流域の保護協会支部や環境・自然保護等にかかわる13団体（約29人）で、中川の起点（羽生市）から八潮市の首都高共和橋まで見学しました。さって市民環境ネットから藤城、久保田、木村が参加しました。

第1日 中川の起点から草加市まで ～これが起点～

中川の起点を見学 中川は全長80km（うち21kmが国の管理）の1級河川です。羽生市の田園地帯を流れる用水路が葛西用水と交差する箇所（葛西用水の下を樋管で通す）がその起点で、そこは幅3mの3面張り用水路であり、中川起点の標識がなければ、それとはわからない場所です。

中川起点の後、羽生市のムジナモ自生地・鷲宮砂丘・久喜市古久喜公園・杉戸町大島新田調整池・中川サギ山・草加市キタミソウを見学し、南越谷サンシティーセンターで意見交換を行いました。

第2日 龍Q館見学

首都圏外郭放水路は、中川、倉松川、大落古利根川など大小河川の洪水を国道16号線の地下50mに直径10.6m総延長6.3kmのトンネルを通し、庄和排水機場から江戸川へ排水する施設で、1秒間に25mプール1杯分の水を排出できるとのこと、地下空間の大きさに驚きました。排水機場の植栽（常緑広葉樹を中心に密に植え、手入れなどはないとのこと）を見学し、龍Q館で意見交換を行いました。

第3日 越谷レイクタウンから八潮市中川築堤工事現場見学

越谷レイクタウンは、武蔵野線越谷レイクタウン駅を中心に面積225haの広大な土地を開発し、将来人口22,400人の町ができるとのことです。現在ショッピングセンターがオープンしています。開発にあたり保護協会越谷支部としてレイクのビオトープ作りに参加したとの説明がありました。

つぎに八潮市鶴ヶ曽根地区の中川（ここでは河川幅約300mとのこと、起点の3mから思うと中川ってすごいなと感じた）で行われている、国交省江戸川河川事務所による築堤工事に伴う、河川敷に自生している「ノウルシ」の移植試験現場を見学し、越谷市中央市民会館で意見交換を行いました。（市民会館の脇の河川敷―葛西用水・元荒川―に自生している「キタミソウ」を見ました。）

3日間の勉強会で、他のグループの人たちと意見交換が出来たことは良かったと思います。中川流域にも貴重な自然があり、これらの保護については開発との関係など問題課題が山積していると感じました。江戸川（龍Q館付近）の河川敷に「キツネ」が生息し子キツネが交通事故にあったことが話され、また「サギのコロニー」では付近のエサ場となる水田の縮小などから今後の動向が心配されています。

中川流域の魅力や自然環境など各団体が把握している箇所を抽出し、特定の生物種の保護だけではなく、生物種の生息地や生態系を保全するための「エコロジカル・ネットワーク」づくりの話が保護協会事務局からありました。（木村）

市民環境講座開催のお知らせ

身近な環境問題をシリーズで学ぶ環境講座を開催します、是非ご参加ください。

●5 回目のテーマ

演題

エコ(環境配慮)包装の現状

＜講師：日本包装技術協会 澤村 邦夫氏＞

皆さんが毎日、手にする商品には包装がつきものです。

その材料は、環境配慮がすすめられており、関連企業は協力して「3R推進自主行動計画」を策定し取り組んでいます。それらの状況を対応事例とともに紹介します。

- ・日時 平成21年3月28日（土）
- ・時間 午後1時～4時
- ・会場 幸手市中央公民館 講座室
- ・定員 40名

問合せ&申込先 幸手市市民生活部 環境課

48-0331 環境担当まで

幸手の環境活動グループ：幸手権現堂桜堤保存会、権現堂川地域環境保全協議会、幸手自然愛護会、幸手地産地消研究会、幸手ひがし幼稚園、エコ・グリーン幸手、くらしの会、上高野婦人会、倉松探検隊

市民環境会議・さて市民環境ネットは、「環境基本計画」に市民の皆さんの声を織り込むために作業してきました。そして今、環境ナビ（幸手市HP）、エコライフDAY、中川探検、腐葉土づくり、浮島づくり、グリーンコンシューマー運動などの活動に取り組んでいます。あなたも参加しませんか。いつからでも誰でも参加できます。

問合せは、本田（42-8412）まで。